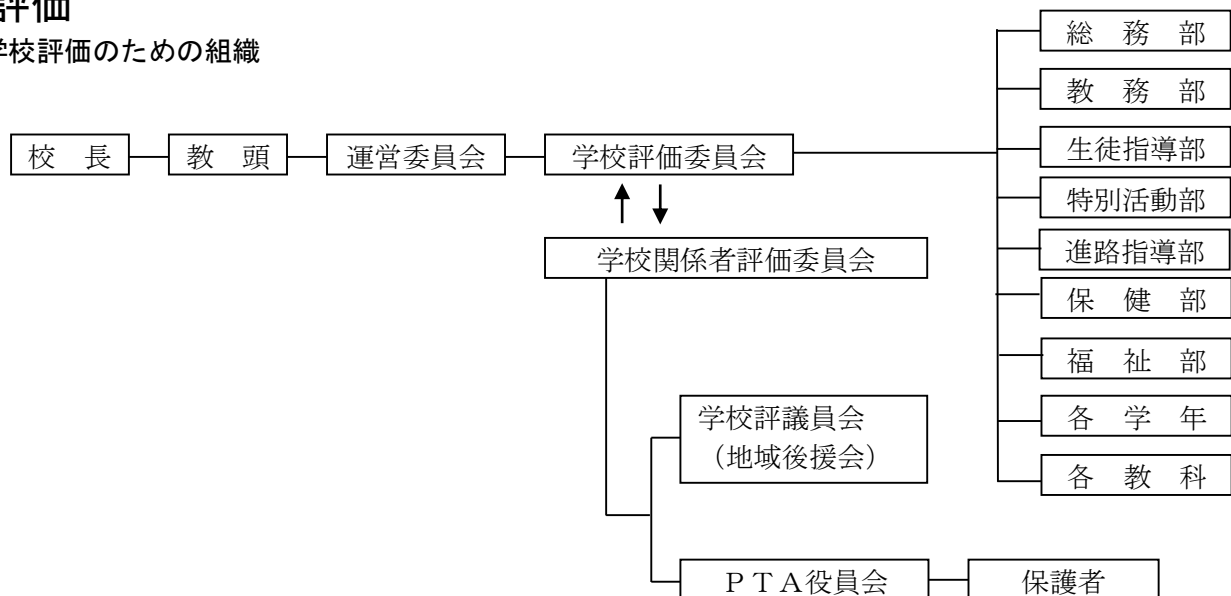


学校評価

(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

月	項目	内容
4	・学校運営方針の発表 ・重点目標の設定	・校長による学校運営方針の発表に基づく各分掌等の重点目標と具体的取組等の設定
5	・保護者への説明(P T A総会) ・ホームページへの評価結果の公表	・新年度の学校評価の重点目標の説明と公表 ・前年度の自己評価及び学校関係者評価結果の説明と公表
9	・第1次評価の実施	・1学期までの取組とその改善策の自己評価
10	・外部評価・中間評価の実施	・地域後援会(学校評議員会)、学校関係者評価委員会による中間評価の実施と学校評価委員会への報告
12	・第2次評価の実施	・2学期までの取組とその改善策の自己評価
2	・年度末評価の実施	・年度末評価の実施と課題に関する自己評価
3	・学校関係者評価委員会の開催	・自己評価・内部評価及び外部評価の実施と評価結果のまとめ

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ②遅刻をしないこと等の基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ③交通徳、規則遵守の精神を養うとともに、学習環境・美化を推進する。 ④家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる学校づくりに努める。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・式典・行事等の日程の再検討 ・グラウンド駐車場誘導マニュアルの再検討	・直近3年間の実際の日程を参考にし、式典・行事の日程を見直す。 ・車に加え、保護者の安全な誘導計画を追加作成する。	・流動的だった時間帯の動きを再検討し、現実に即したものに改善していく。 ・保護者をより安全に誘導することを念頭において誘導マニュアルを見直し、担当者が代わっても引き継いでいける形に整えていく。
	・広報活動の推進	・HPの活用方法を再検討する。	・各種行事の案内に「HPにも掲載」の文言を加えるなど、各種の情報を提供するツールとしての認知度を高めていく。
	・P T A活動の活性化	・各種P T A活動について、保護者だけでなく、教職員にも積極的な参加を呼びかける。	・総務部員が積極的にP T A活動に関わっていき、教職員とP T Aとの橋渡しの役割を担えるようにしていく。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成	・基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成	・基礎学力の定着 ・総合的な探究の時間等を利用したキャリア教育の充実
	・新成績処理システムの構築	・新成績処理システムの構築	・成績処理システムの見直し ・成績処理システムについての研修の実施
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・朝読の充実
生徒指導 交通安全 (生徒指導部)	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻者数の減少と、身だしなみ指導、あいさつ指導の充実	・全職員一致体制で教育活動全体を通して指導する。 ・地域、保護者、学年等との連携を図るとともに、教科指導や進路指導の場面においても、挨拶指導を充実させる。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・交通安全・モラル・マナーに関して生徒の意識が一層高まるよう、さまざまな場面で指導する。
L T 生徒会・部活動 ボランティア (特別活動部)	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・各部活動の活動状況や問題点を把握し、より充実した活動ができるように改善する。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やHR活動における生徒の活動の充実	・学校行事において実行委員を募集し、各学校行事を生徒の手で成功させる。 ・HR役員の活動の場を増やす。
	・ボランティア活動の一層の推進	・ボランティア活動の周知	・生徒会広報紙「切磋琢磨」を利用し、活動内容の予告と報告を行う。
進学・就職指導 キャリア教育 (進路指導部)	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・進路情報を自らの意志で積極的に手に入れ、自らの判断で進路を選択させる。また、将来の生き方を考えさせる。
	・就職指導	・コミュニケーション能力の向上	・仕事の場面を具体的に想定し、コミュニケーション方法を考えさせる。さらに、社会人として必要である目上に対する接し方を学ばせる。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・自ら課題をもたせて、就職希望者全員にインターンシップを経験させることにより、勤労観・職業観を高めさせる。
保健・体育 相談 清掃・緑化 (保健部)	・健康で安全な学校生活	・相談体制の充実 ・特別支援教育の実践	・教育相談担当者等との会議を活用して、早期の生徒情報の収集、及び教員間の情報共有に努める。 ・S C、S S Wとの連携により適切な指導・支援を図る。 ・特別な教育支援を必要とする生徒への迅速な対応を図る。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化 ・P T Aとの協力による緑化活動の推進	・美化委員会の活動を活発化させ、校内巡視等の活動を通して、校内美化に努める。 ・清掃用具の管理と補充を徹底する。
福祉 ボランティア 資格取得指導 (福祉部)	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・教員間の連携を図り、日々の教科指導を通して生徒の理解度を正確に把握し、個に応じた受験指導を行う。 ・実施時期に適した内容で特別学習を行い、国家試験受験に向けた実践力を身に付けさせる。
	・情報発信と地域貢献	・コンテスト、コンクールなどへの積極的な参加 ・地域活動への積極的な参加	・高校生介護技術コンテストや専門高等学校作文コンクールなどに参加させ、成果が発揮できるよう努める。また、成果を積極的に地域に情報発信する。 ・ボランティア活動などを通して地域社会へ積極的に参加させ、福祉科の魅力を伝えていく。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習・進路指導 生徒指導 (学年)	・基本的な学校生活と規律の確立(1年)	・生活習慣と授業規律の確立 ・清掃の徹底と学習環境の整備 ・遅刻・欠席への指導	・分掌・教科等の職員間の連絡を密にし、生徒情報を共有することで、早期に効果的な指導をする。 ・学校のさまざまな場面で繰り返し指導する。
	・学校生活の充実(2年)	・基本的生活習慣の確立 ・学校の諸行事への積極的参加 ・部活動への取組み強化 ・進路意識の向上	・職員間の連絡を密にし、効果的な指導をする。 ・学校の中核という意識をもたせる。 ・部活動に意欲的に参加できるように促す。 ・自己の進路を意識させ、情報を提供する。
	・目標に応じた進路の実現(3年)	・就職や進学に関して、自ら学び考える学習及び特別学習での学力充実	・生徒が自ら調べ学び考える機会とその方法を指導する。また、自らの目標に応じて特別学習や家庭学習に取り組みさせる。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組 (生徒指導部)	・安心・安全委生活できる学校づくり	・いじめの未然防止 ・いじめの早期発見 ・いじめに対する適切な対応	・情報モラルや人権の講話を実施して、啓発活動に努める。 ・個人面談やアンケートを実施して、早期発見に努める。 ・教職員が共通理解をもち、組織的に対応する。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止 (管理職)	・教職員が健康的に教育活動ができる学校作り	・業務の適正化と年次休暇の計画的な使用促進	・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに、ストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面接指導を通じて教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。
その他 (管理職) (関係分掌) (各種委員会)	・地域から信頼され愛される学校づくり	・地域から愛される学校づくり ・地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 ・部活動の活性化による地域貢献	・生徒や職員が地域住民に対しても積極的に挨拶することを心掛ける。 ・生徒や職員が地域行事等に積極的に参加する。 ・校内行事立案には地域貢献の視点を含める。 ・部活動の一層の活発化を図る。
	・信頼される教員の育成	・生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 ・厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 ・指導力向上に資する取組の継続的实施	・本校生徒に適した指導のノウハウを全教職員で共有するため、教員の現職研修や情報交換会を開く。 ・大学や外部の機関から講師を招き講演会を開催するとともに、本校の取組方法を明確にし定着を図る。 ・生徒の変化に早期に気づき、適切に対応できる指導力を育て、生徒や保護者から信頼されるとともに、すべての教員が適切な態度や指導法で対応できるように職員研修を充実させ、教員の資質の向上を図る。 ・生徒と十分なコミュニケーションを図り、教員が生徒を十分理解することにより、生徒の教員理解に繋げるようにする。 ・生徒に「わかる」、「できる」喜びを味わわせることができる教員を育成する。
	・危機管理体制の確立	・不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化	・名札を着用して、常に教員としての自覚をもつとともに、自己点検や相互点検に努める。 ・分掌や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間の連携の強化を図り、互いに指摘し支援しあえる環境を整備する。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		・家庭や地域と積極的に連携し、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できたか。	

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	①基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ②遅刻をしないこと等の基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ③交通道德、規則遵守の精神を養うとともに、学習環境・美化を推進する。 ④家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる学校づくりに努める。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・式典・行事等でのグラウンド駐車場準備・誘導マニュアルの作成	・行事に合ったグラウンド準備マニュアル・駐車場内誘導マニュアルを完成させる。 ・グラウンド使用後の整備計画を具体化する。	・保健体育科と連携を図り、行事の特色に配慮したグラウンド準備マニュアル・駐車場内誘導マニュアルを作成することができた。 ・グラウンド使用後については、関係部活動に整備を依頼することになったが、悪天候等により復元に困難がある場合は、柔軟に対応していきたい。
	・広報活動の推進	・HP・広報紙「はまぎく」を活用した定期的な情報発信	・主な行事の後にはその様子をHPに掲載し、はまぎくを発行した。HP・はまぎくとも、今後は部活動関連のページを充実させていきたい。
	・PTA活動の活性化	・PTA主催の行事の広報方法の見直し	・HP・eメッセージの他、懇談会でもPTA関連行事の情報を発信し、リサイクルバザーでは多くの物品を提供していただくことにつながった。
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成	・基礎学力の定着 ・総合的な学習の時間等を利用したキャリア教育の充実	・現在の学習時間調査では、学習時間の確保にはつなげていないので、他の手段を検討すべきである。 ・「総合的な学習の時間」の指導計画は3年分整った。今後は見直しをしながらより効果的なものにしていく必要がある。
	・新成績処理システムの構築	・校務支援システムの定着 ・成績処理システムについての研修の実施	・メソフィアのマニュアルは前年度よりもよいものにすることができた。 ・成績処理時のミスをなくすため、メソフィアの使い方の見直しを行った。
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・朝読の充実	・生徒図書委員会の活動の成果が出て、来館者も貸出数も増加した。
生徒指導 交通安全 (生徒指導部)	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻者数の減少と、身だしなみ指導、あいさつ指導の充実	・遅刻者が前年度より多かった。次年度は遅刻者指導をより重点化して遅刻の減少に努めていく必要がある。 ・身だしなみ、あいさつについてはよく指導がなされた。次年度も継続的に取り組んでいきたい。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・大きな交通事故などはなかったが、注意力や配慮を欠いた事故がいくつかあった。さらに交通安全への意識が高まるよう指導していきたい。
L T 生徒会・部活動 ボランティア (特別活動部)	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・運動部、文化部ともに輝かしい活動があった。来年度はガイドラインが提示されるので、それに沿いながら充実した活動を依頼していきたい。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やHR活動における生徒の活動の充実	・学校祭でのみ実行委員を募集しただけとなってしまった。学校行事では生徒の力が必要であるので、来年度はより積極的に実行委員の募集をしていきたい。
	・ボランティア活動の一層の推進	・ボランティア活動の周知	・生徒の参加が前年度より少なかった。もっと生徒への呼びかけをしっかりと行うべきであった。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進学・就職指導 キャリア教育 (進路指導部)	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・タカコタイムや個人面談を通じて進路情報を自らの意志で積極的に手に入れさせることができた。 ・個人面談や企業見学を経験させることによって、自らの判断で進路を選択させることができた。
	・就職指導	・コミュニケーション能力の向上	・日常生活におけるあらゆる場面で適切な行動をとらせることで、コミュニケーション方法を考えさせることができた。また、社会人として必要である目上に対する接し方を、言葉遣いや態度を通じて学ばせることができた。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・就職希望者全員にインターンシップを経験させることができた。 ・勤労観・職業観を高めさせるためのより細かいアプローチが必要であると考えた。
保健・体育 相談 清掃・緑化 (保健部)	・健康で安全な学校生活	・相談活動の充実	・週に1回の教育相談担当者による連絡会により、養護教諭と学年職員間の連携を密にして生徒の指導・支援にあたることができた。 ・特別支援教育の視点による指導・支援のスキルを高め、幅広く対応できるようにしていきたい。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化 ・PTAとの協力による緑化活動の推進	・休日における校内の花の水やりでは、PTAの協力を受け、花いっぱい状態を保つことができた。 ・日々の清掃について、各清掃場所における生徒の役割分担をより具体化し、質を高めていきたい。
福祉 ボランティア 資格取得指導 (福祉部)	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・日々の教科指導を通して生徒の理解度の把握に努め、個に応じた介護福祉士国家試験受験指導を行った。 ・実施時期に適した内容で特別学習を行い、国家試験受験に向けた実践力を身に付けさせるよう努めた。知識定着度の低い生徒への対応をさらに工夫していきたい。
	・情報発信と地域貢献	・愛知県高校生介護技術コンテスト参加 ・「まごのて」の実施	・愛知県高校生介護技術コンテストに参加し、最優秀賞を受賞することができた。 ・デイサービス事業の「まごのて」をキャラバン形式に変更して実施し、福祉科での3年間の学びの成果を地域の方々に披露することができた。 ・生徒のボランティア活動を、地域社会への参加のきっかけとすることができた。福祉科の魅力発信については、引き続き方法を模索していきたい。
学習・進路指導 生徒指導 (学年)	・基本的な学校生活と規律の確立(1年)	・生活習慣と授業規律の確立 ・清掃の徹底と学習環境の整備 ・遅刻・欠席への指導	・授業ではさまざまな教員がそれぞれの視点から指導を繰り返し行い、学習環境を整えることができた。 ・遅刻や欠席の生徒に対してはこれからも継続して指導する必要がある。
	・学校生活の充実(2年)	・基本的生活習慣の確立 ・学校の諸行事への積極的参加 ・部活動への取組み強化 ・進路意識の向上	・職員間の情報を共有と学年団の協力を得て指導にあたったが、個別指導でやや迷う場面もあった。 ・全般的に学校生活には意欲的に取り組んだが、部活動を半ばで辞めてしまう生徒もあった。 ・各種の進路行事、進路希望調査、面談等を通じて、進路意識を向上させることができた。
	・目標に応じた進路の実現(3年)	・就職や進学に関して、自ら学び考える学習及び特別学習での学力充実	・生徒や保護者と密に相談をしたことで、生徒の進路実現に向けての助言やサポートをすることができ、多くの生徒は希望の進路を実現することができた。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校いじめ防止基本方針に基づく取組(生徒指導部)	・安心・安全委生活できる学校づくり	・いじめの未然防止 ・いじめの早期発見 ・いじめに対する適切な対応	・面接やアンケートなどを実施し、いじめの早期発見と抑止に努めた。 ・生徒からの情報を共有し、学校全体として組織的に対応することができた。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止(管理職)	・教職員が健康的に教育活動ができる学校作り	・義務の適正化と年次休暇の計画的な使用促進	・在校時間等の状況記録の結果を活用し、勤務の適正化を図った。また勤務の割振りを適正に行えるよう、記録簿を整理した。
その他(管理職)(関係分掌)(各種委員会)	・地域から信頼され愛される学校づくり	・地域から愛される学校づくり ・地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 ・部活動の活性化による地域貢献	・生徒や職員が地域行事等に積極的に参加するよう働きかけた。 ・校内行事立案には地域貢献の視点を含めた。 ・部活動では運動部・文化部とも日頃の活動が結実した成果を挙げることができた。
	・信頼される教員の育成	・生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 ・厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 ・指導力向上に資する取組の継続的实施	・本校生徒に適した指導方法を全教職員で共有するための情報交換会を定期的に開いた。 ・外部の機関から講師を招き講演会を開催し、本校の取組方法を明確にし、全職員への定着を図った。 ・生徒の変化に早期に気づき、適切に対応できる指導力の向上を図るため、職員研修を充実させた。 ・生徒と十分なコミュニケーションを図り、生徒理解に繋げるための研修を行なった。 ・生徒に「わかる」、「できる」喜びを味わわせることができる教員を育成するための研修を行なった。
	・危機管理体制の確立	・不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化	・名札を着用して、常に教員としての自覚をもつとともに、自己点検や相互点検に努めた。 ・分掌や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間の連携の強化を図り、互いに指摘し支援しあえる環境を整備した。
総合評価		・家庭や地域と積極的に連携し、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができた。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できた。 ・学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できた。	

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	・家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できたか。
自己評価結果について	・年々学校行事や生徒会活動・部活動が盛んになっており、学校生活全体が活性化している。また、地域行事やボランティア活動への参加・貢献などにより、学校・地域に元気を与え、本校の良さを校外外にPRできた。 ・福祉科生徒によるデイサービス「まごのて」や介護実習を通して、本校の福祉教育の質の高さとその成果を、各方面に発信することができた。また、この成果が生徒自身や職員の大きな自信となった。
今後の改善方策について	・歩きスマホをはじめ、公共の場所等でマナーを守る等、生徒の規範意識を高め、社会の一員であることを認識し、自他共に尊重し、自己実現を目指した教育活動を行うことを今後も続けていく。 ・引き続き中学生や地域への情報発信を強化し、地域から信頼され愛される学校を目指すとともに、福祉科についての情報発信を積極的に行っていく。 ・今後は様々な活動を通して、生徒の達成感・充実感を高めさせ、自己肯定感を高める指導を行なっていく必要がある。

<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校正門の環境が近年特によくなっている。また稗田川沿いを散歩していると部活動の生徒が挨拶をしてくれ、とても好印象をもっている。 ・通学路清掃は継続して欲しい。印象アップにつながる。 ・登下校のスマホ使用について何らかの検討をお願いしたい。交通道德を守らせる指導をお願いします。 ・先生と生徒、PTAと学校の関係が近く感じました。卒業式の卒業生退場の様子を見て、我が子が3年間楽しく通学できたのだらうとうれしく思います。 ・福祉科やSBP、吹奏楽部などが地域の幼稚園・保育園、小学校、中学校(出前授業)ともっと関わると高浜高校のよさを知ってもらえるのではないのでしょうか。 ・日頃より服装、頭髪を厳しく指導していただけたことを感謝しています。以前の高浜高校とは比べものにならないほど、よい学校になっています。 ・OBや専門の方が講師として御自身の体験談やアドバイスをしていただけている機会は本当に役に立つと思います。 ・バランスのよい環境を先生方が作ってくださっていると感じています。希望がもてる未来へ子どもたちにも幅をもたせて選択しながら進級していくステップはとてもよいと思いました。 ・中退者も少なく、先生方が丁寧に指導してくださっていると思います。 ・生徒の学校外での様子も落ち着いており、安心して進路先として選べることができます。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成…学校評議員4名(PTA会長を含む)、地域後援会役員13名、PTA役員等 ・評価時期…3月1日

(5) 経営管理上の問題点等

- ア バックネット移設
- イ 本館棟南側壁等爆裂補修
- ウ 下水道接続